

水戸学の復興

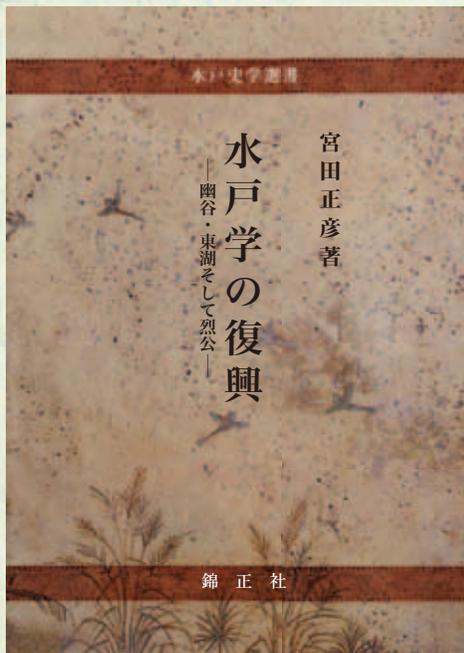
— 幽谷・東湖・そして烈公 —

宮田 正彦著

〈水戸史学叢書〉

光圀歿後の水戸学を支え復興した精神と行動を
藤田幽谷・藤田東湖・烈公の三者を通して探る

水戸学の精神は、光圀から真つ直ぐ徳川慶喜の「大政奉還」に繋がった訳ではない。光圀歿後の九十年に亙る歳月は、本来の姿、理想、念願を忘却の彼方に追いやろうとしていた。その時、出現したのが、一個の天才・藤田幽谷であった。幽谷によって再認識された水戸学の精神は、烈公を得て国の未来への道標となった。そして烈公と共に、その道を切り拓き、歩んだのは、藤田東湖をはじめとする幽谷の育てた門人達であった。



定価：本体2,800円(税別)

企画：水戸史学会／発行：錦正社

平成26年7月発行／B6判・上製・カバー装・256頁
ISBN978-4-7646-0118-5

著者略歴

宮田 正彦 (みやた まさひこ)

昭和35年3月 茨城大学文学部文学科卒業
昭和35年5月 茨城県公立学校教諭に採用
昭和52年4月 茨城県教育委員会総務課文化
財保護主事、教育財団茨城県歴史館勤務
昭和63年4月 茨城県総務課主査・茨城県立
歴史館学芸第一室長
平成5年4月 茨城県立高等学校校長
平成10年7月 幕末と明治の博物館協議員
平成10年9月 茨城コンピューター専門学校
副校長・同校校長
平成20年11月3日 生存者叙勲(瑞宝小綬章)
現在の主な役職 水戸史学会会長、水戸市文
化財保護審議会会長ほか

目次抄

はしがき

- 第一章 水戸学の復興
- 第二章 幽谷の政治論——封事を中心として——
- 第三章 送「原子」簡序
- 第四章 東湖先生の面目
- 第五章 小梅水哉舎記
- 第六章 君臣水魚
- 第七章 弘道館記の精神
- 第八章 弘道館記の成立と烈公の苦心
- 第九章 烈公の魅力——家臣への手紙から——
- 第十章 烈公と『北島志』
- 第十一章 父と子——烈公と慶喜公——
- 第十二章 史余閑談

(ご注文・お問い合わせ)

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <http://kinseisha.jp/>
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

書店様番線

注文数

水戸学の復興—幽谷・東湖・そして烈公—

宮田 正彦著

冊

本体2,800円(税別) (ISBN978-4-7646-0118-5)

お名前

〒
ご住所

お電話

錦正社 (平成26年7月)

注文書